

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全のための注意事項

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

危険	・取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
注意	・取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

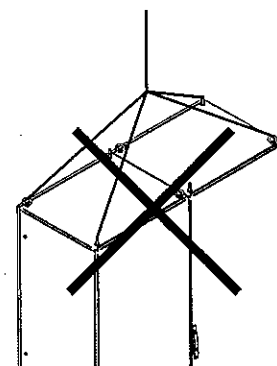
危険

- ・オプションは使用目的にかなった使い方をしてください。
- ・組立作業はキャビネットの転倒防止の処置をしてから行ってください。

■作業上の注意

注意

- ・キャビネットの側板、背面板は重量物です。けが防止のため、一人で着脱作業は行わないでください。
- ・キャビネットを連結した状態で吊り上げないでください。変形、落下する恐れがあります。
- ・各種取付ねじは適正トルク値を守り正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、落下・破損の原因となります。また締付け過ぎの場合は、ねじやタップを破損する恐れがあります。



ねじの呼び	適正締付トルク※
M5	176~294N・cm (18~30kgf・cm)
M10	1470~2450N・cm (150~250kgf・cm)

※但し、Sタイトねじにおいて締付け時の初期値はこの限りではありません。

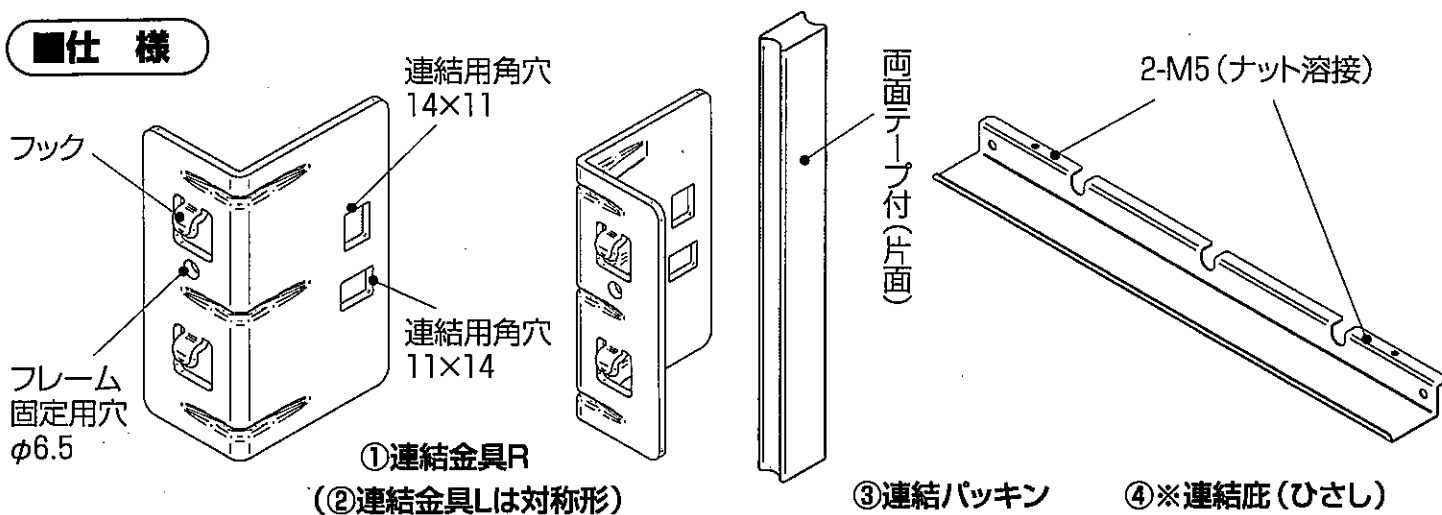
- ・IP性能を保つため、連結時の締付けは均等に徐々に行ってください。〈キャビネット連結方法(1)参照〉

■使用上の注意

注意

- ・高温、高湿、腐食性ガスなどの雰囲気での使用は避けてください。

■仕様

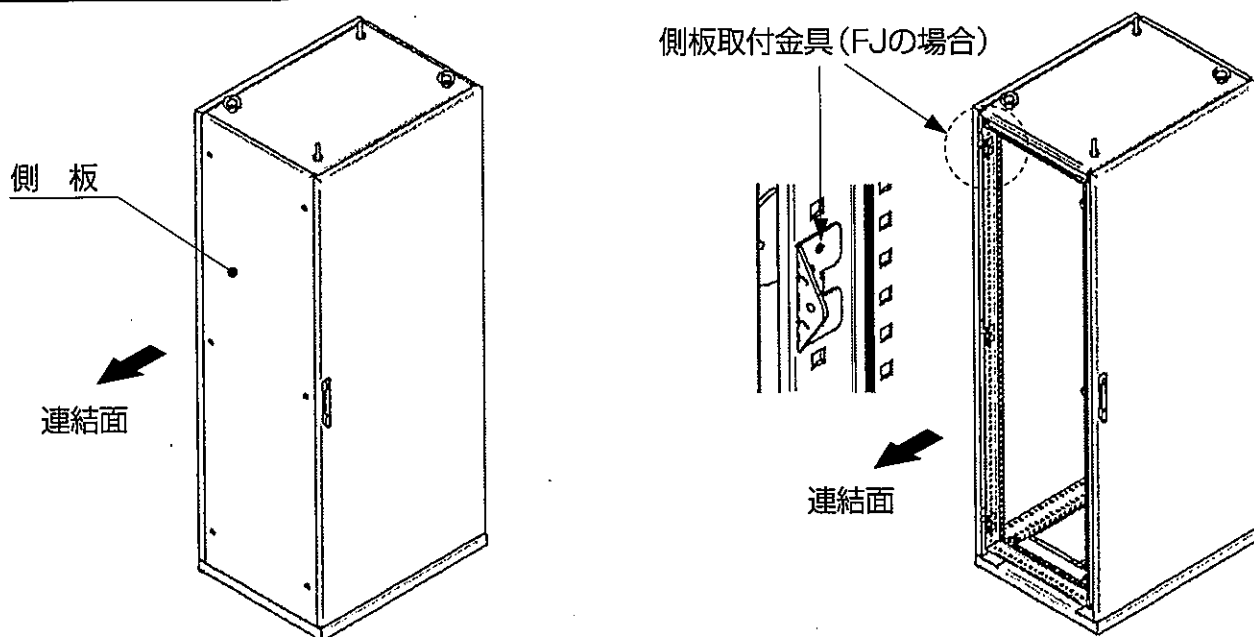


番号	部品名	材質	板厚	数量			
				FCX-JL6	FCX-JL8	FCX-OJL6	FCX-OJL8
①	連結金具R	鋼板・クロメートめっき	t3.2	6	8	6	8
②	連結金具L	鋼板・クロメートめっき	t3.2	6	8	6	8
③	連結パッキン	EPDM	—	6m	6m	6m	6m
④※	連結底(ひさし)	ステンレス	t1.5			1	1

番号	付属品名	姿 図	数量			
			FCX-JL6	FCX-JL8	FCX-OJL6	FCX-OJL8
⑤	六角ボルト M10×25		6	8	6	8
⑥	六角ナット M10		6	8	6	8
⑦	フランジ六角ボルトSタイト M5×10		12	16	12	16
⑧※	3点セムスナベ小ねじ M5×12				2	2

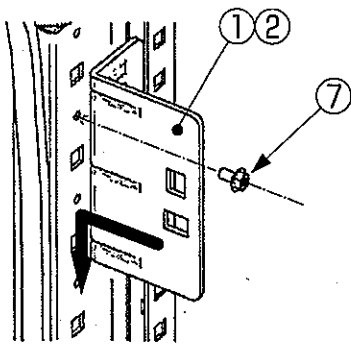
※部品は屋外連結セットのみに含まれます。

■連結金具取付方法



(1) 連結する面の側板を取り外してください。
(注. OFJの場合は内側からのネジ止めです。)

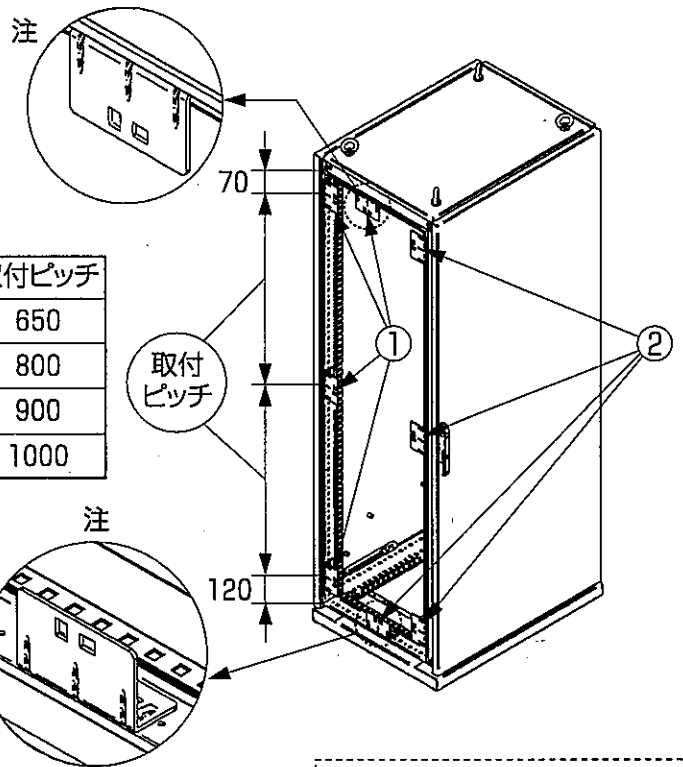
(2) 側板取付金具を取り外してください。
(注. OFJの側板取付金具は側板に付いています。)



ねじの呼び	適正締付トルク※
M5	176~294N・cm (18~30kgf・cm)

※1 但し、Sタイトねじにおいて締付け時の初期値はこの限りではありません。

(O)FJ品名	取付ピッチ
(O)FJ□□-□16	650
(O)FJ□□-□19	800
(O)FJ□□-□21	900
(O)FJ□□-□23	1000

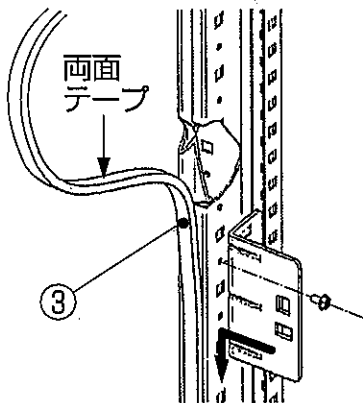


(3) SタイトネジM5×10⑦を使用して連結金具R①、L②を取り付けてください。

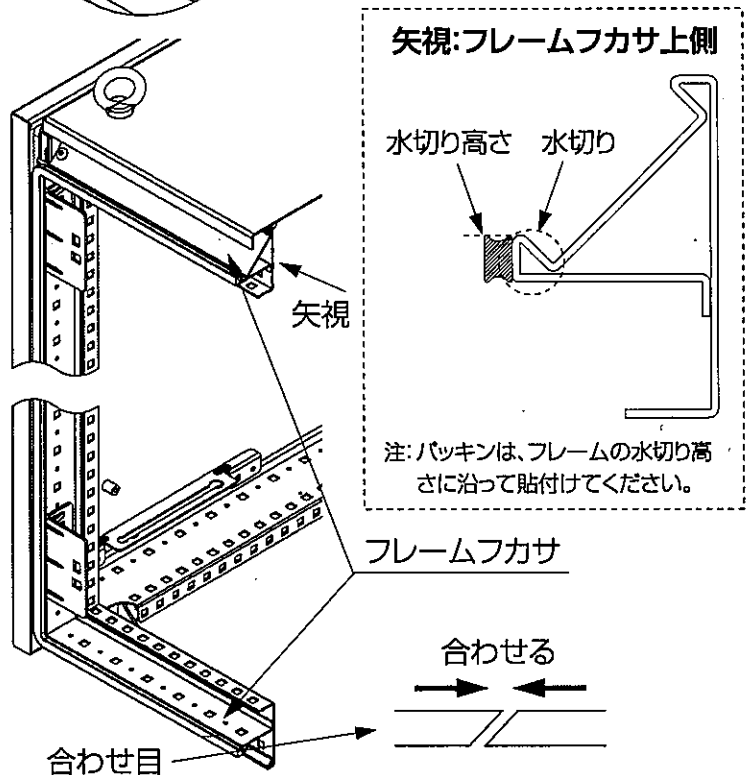
(注.フカサ800タイプ:FCX-(O)JL8は上下にも取り付けてください。右図参照)

(4) 連結金具R①とL②が、必ず対になるように相手の連結面にも連結金具を取り付けてください。

■パッキン貼付方法

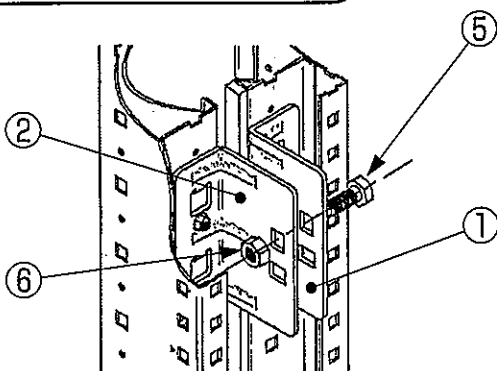


(1) 連結パッキン③を片側連結面のフレーム全周に貼付けてください(矢視、注)。またIP性能を満足させるため、パッキンの合わせ目は下側にし、斜めにカットして合わせてください。



※ 屋外連結セットの場合は、キャビネット連結前に連結底を必ず取り付けてください。(4ページ参照)

■キャビネット連結方法



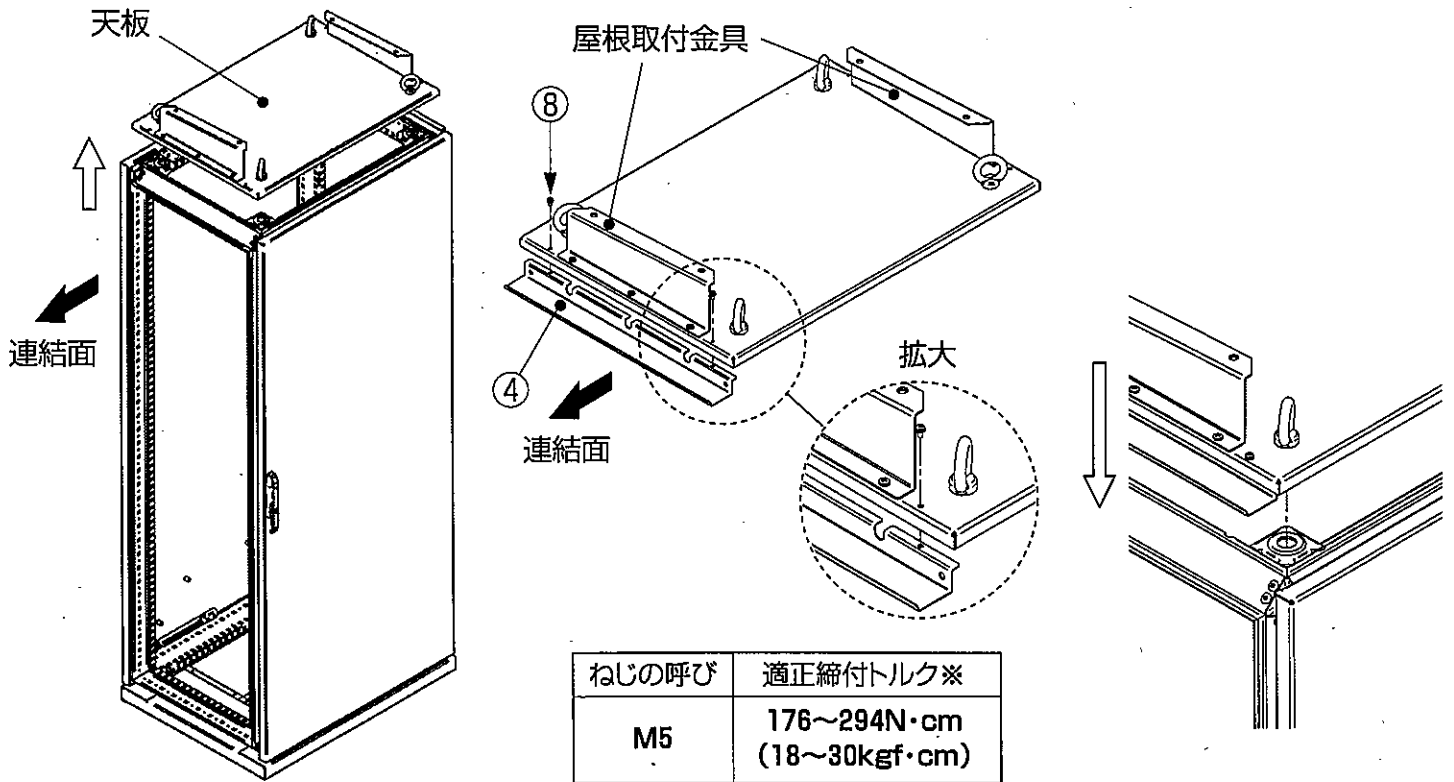
(1) キャビネットの連結面を合わせ、連結金具R①、L②の角穴(14×11/11×14)のどちらかで連結してください。角穴が合わない場合はネジ留めしない一方の角穴でシノ等の工具を使用し調整してください。

ねじの呼び	適正締付トルク※
M10	1470~2450N・cm (150~250kgf・cm)

■連結底(ひさし)取付方法 (屋外連結セット)

注1. キャビネットを連結する前に取り付けてください。

注2. 連結底(ひさし)の取付はOFJに限り可能です。



(1) 本体の天板を取り外してください。

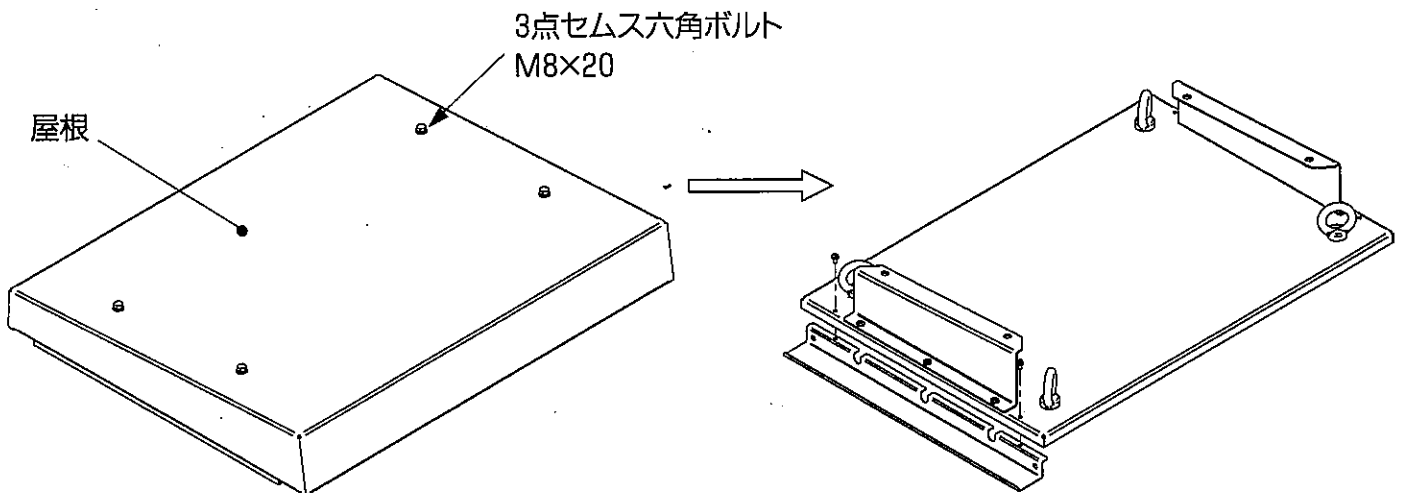
(2) 天板の連結側に、連結底(ひさし)④を取り付けてください。

(3) 本体に連結底(ひさし)の付いた天板を取り付けてください。

◇ 既に屋根が取り付けられている場合

(1) 屋根を取り外してください。連結底(ひさし)の取付方法は上記と同様です。

(2) 屋根の取り付けはキャビネット取扱説明書をご確認ください。



仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら弊社技術相談室にお問い合わせください。この取扱説明書の内容は2007年4月現在のものです。

NITO 日東工業株式会社
©NITTO KOGYO CORPORATION

技術相談室 / 愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地

TEL (0561) 64-0152

<http://www.nito.co.jp>

〈再生紙を使用しています〉

SK-275C C406100920